

I 研究の概要

1 本校の概要

昭和61年度の開校以来23年目を迎えた本校は、異なった三つの教育課程をもつ学校として、それぞれの教育部の重点に基づいた教育の推進、地域との交流を大切にした特色ある学校づくりを進めてきた。

< 教育目標 >

障害のある児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握するとともに、生活や学習上の様々な困難の改善・克服を図り、発達の可能性を最大限に伸ばすため次の教育目標の達成に努める。

- (1) いのちを大切に生きて力を育てる。
- (2) 心豊かにたくましく生き抜く意欲と態度を育てる。
- (3) 自立し社会参加する力を育てる。

2 全校研究活動

それぞれ異なる教育課程を持つ中で、共通のテーマや課題に沿って研究を進めることは難しいと考えてきた。しかし、特別支援学校として出来ることは何なのかという視点に立ったとき、子どもの実態把握、自立活動のねらい、授業での具体的な支援の手立てなど、ともに学びあい刺激し合わなければならないことを合同の研究会の中で再認識した。日々の取組内容は違っていても、特別支援学校として取り組むべき実践や地域支援も視野に入れながら、ともに実践を高めていきたい。本紀要は、各教育部のテーマに基づく、授業研の内容を中心とした2年間の取組のまとめである。

全校研究テーマ

「生きる力の育成を目指した授業改善～今求められる力を考える～」

学部	重心教育部	病弱教育部	通学高等部
対象	独立行政法人国立病院機構 京都病院に入院している重症 心身障害児	慢性の病気や心身虚弱のため 一般の学校生活が困難で入院 加療を必要と診断され、独立法 人国立病院機構南京都病院に 入院する児童生徒	地域の中学校を卒業した自主 通学が可能な軽度知的障害の ある生徒
教育課程	「日常生活の指導」「遊びの指 導」など領域・教科を合わせた 指導 一人一人の障害に応じた自立 活動の指導	小・中学校に準じる教育課程を 基本に自立活動における病気 の学習や学習空白や遅れへの 対応	教科学習、自立活動、領域・教 科を合わせた授業(日常生活の 指導、作業学習)
研究テーマ	「個に応じた自立活動とは」	「自ら学ぶ態度を育てる授 業改善の取組」	「『職業生活に求められる必要 事項』を基にした授業改善の取 組」

全校授業公開

年一回、「授業公開週間」を設定し、他教育部の児童・生徒の実態や授業の様子を知り合う機会とする。

全校公開研究授業	<p>< 重心教育部 ></p> <p>自立活動</p> <p>～付きたい力を引き出す教材・教具の工夫～</p> <p>対象：A・Bグループ全員</p>	<p>< 病弱教育部 ></p> <p>自立活動</p> <p>「集団活動」（エンカウターの取組）</p> <p>対象：小・中全員</p>	<p>< 通学高等部 ></p> <p>作業学習</p> <p>「窯業」（個に応じた支援）</p> <p>対象：2年生</p>
----------	---	--	--

《 教職員全体の校内研修 》

実施時期	実施場所	研修テーマ	実施形態	講師等、その他
6月11日（水）	本校	救急法（心肺蘇生訓練）研修	講義・実技	救急救命士 保健環境部 城陽市消防本部
6月19日（木）	本校	地域支援について 重心教育部啓発ビデオ等	講義・協議	地域支援部
7月23日（水）	本校	人権指導に関わる研修	報告・協議	人権教育部
		特別支援教育研修会について		地域支援部
7月25日（金）	文化パルク 城陽	特別支援教育研修会	講義等 パネルディスカッション	有賀Dr. 高木恵子氏 傍島規子氏 地域支援部
8月28日（木）	本校	進路に関わる各学部の実践交流研修	講義・協議	進路指導部
		情報についての研修	講義・実技	情報教育部長
8月29日（金）	本校	頸肩腕・腰痛について研修	講義・実技	外部講師 学校保健委員会
10月、11月	本校	教育部のテーマに沿った研究授業 事後研修会	報告・協議	授業等研究部
11月14日（金）	本校	地域支援研修会	報告・協議	今野芳子氏
11月21日（金）	本校	地域支援研修会	講義・実技	こども発達支援センター 大島氏
12月24日（水）	本校	教育相談における事例研究 応用行動分析	報告・協議	地域支援部 伊澤信三氏
1月29日（木）	本校	特別支援学校就労支援セミナー	報告・協議	進路指導部
2月25日（水）	本校	京都府現職教育職員長期研修報告 定年退職教職員講話	報告 講話	重心教育部教員 事務長
3月25日（水）	本校	紀要作成報告会	報告	授業等研究部